

平成 22 年 5 月 17 日

「認知症サポーター」配置への取組みについて

足利銀行（頭取 藤沢 智）では、高齢化社会の進展にともない、認知症への理解を深めるとともに、窓口等におけるお客さま満足（CS）の向上のため、「認知症サポーター」（以下サポーター）を全店に配置することとしましたので、お知らせいたします。

当行は、これからもお客さまが安心してご来店いただけるやさしい店づくりにつとめるとともに、地域金融機関として、認知症の方やそのご家族が安心して暮らせる地域社会に貢献してまいります。

記

1. 「認知症サポーター」とは

認知症を正しく理解し、偏見を持たず、認知症の方や家族を暖かく見守る応援者。厚生労働省が「認知症を知り地域を作る 10 ヶ年」構想の中で推進している取組み。

2. 具体的な取組み

自治体の協力により開催される「認知症サポーター養成講座」（所要時間：60～90 分）を行内研修等のカリキュラムの一つに組み入れ、サポーターを養成してまいります。

平成 22 年 1 月に、本格的な取組みにさきがけ、宇都宮市の協力を得て、「認知症サポーター養成講座」を開催。これにより、営業店、本部および関連会社職員 195 名が認知症サポーターとなっている。

4. 対象店舗

161 店（ローンセンター含む）

（上記枠中の取組みにより、22 年 1 月中にほぼ全店に配置済。）

5. 今後の予定

22 年 8 月までに少なくとも 1 店舗につき 1 名のサポーター養成・設置を進め、全店舗配置を完了させる予定です。

以 上